

新幹線効果 好循環へ努力を

6月中旬に当地に赴任しました。北陸とはこれまでほとんど縁がありませんでしたが、歴史と伝統文化、豊かな自然に恵まれた当地に赴任できたことを大変うれしく思っています。これから地域の方々との交流を通じて当地の経済に対する理解を深めていきたいと思いますが、今回は、北陸経済に関する差し当たりの印象を述べたいと思います。

日本銀行金沢支店は、北陸地区の景気判断を基本的に毎月行っています。本年4月には、従来の「着実に回復している」から「緩やかに拡大している」に判断を引き上げました。「拡大」の表現が使われるのは、バブル期直後の1991年11月以来約25年ぶりです。現在、北陸経済は、東海経済と並び日本で最も景気の良い地域の一つとなっています。

北陸経済が好調な理由は、①北陸新幹線開業を契機とする経済の活性化、および②海外需要の拡大などを受けた企業の生産活動の活発化、の2点に集約できると思います。

本日は、このうち①についてやや詳しく述べたいと思います。2015年3月の北陸新幹線開業後すでに2年以上がたちますが、交流人口の増加などを背景とする経済効果は高水準を持続しています。経済効果がこのように長続きするのは、新幹線が開通した他の地域でも例を見ないことです。

背景には、もともと北陸地区が育んできた文化遺産や、卓越した観光資源の価値が開業を契機に再認識されたことがあると思います。さらに、東京という国際都市とのつながりが深まったことで、海外における認知度も急速に高まっています。

私はフランスに長く住んでいましたが、金沢の街を散策していて、日本文化に対する造詣が深い欧米人が間違いなく好きな景観だと思いました。また、仕事の関係でアジアの国々を訪れる機会が多かったのですが、北陸の雄大な自然、特に雪景色などはアジア人にとって感動的な景観だと思います。世界的に日本食ブームですが、北陸の食文化が世界の人を魅了することも間違いのないでしょう。

北陸の主要都市の多くでは再開発が進められるなど、新幹線開業に伴う2次効果も見られています。北陸新幹線も22年度末には敦賀まで開通する予定であり、その後も大阪までの延伸が計画されています。

このように新幹線開業を契機に、北陸経済には良い循環が生まれていますが、これが継続するように今後ともたゆまない努力を続けていくことが大切です。例えば、観光客が増える中で、街並み、文化、観光資源の保全をどのように図っていくのか、人手不足の中でいかに質の高いサービスを提供していくのか、などが今後の課題のように思われます。